

スポーツの現場における診療のポイント  
プロサッカーのメディカルサポートの実際

白石 稔（東京慈恵会医科大学）



プロスポーツの世界では勝利が第一の目標とされ、そのため、現場からメディカル部門へは、傷害から練習への早期復帰のみならず、選手が常に100%のパフォーマンスを発揮できるためのコンディショニングや傷害予防までもが要求される。完全治癒よりもプレー可能か否かが重視される傾向にあり、何よりも現場での迅速な対応が望まれる。

今回の講演では、演者が過去に所属した某J1チームに発生したスポーツ外傷・障害を主な題材として、我々スポーツ整形外科医がスポーツの現場で行う具体的な対処法や直面する様々な問題点を紹介し、傷害からの早期完全復帰を果たすためあるいは傷害を予防するためのメディカルサポート上の要点について考察する。

プロサッカー選手では、既往症や筋肉の問題及び身体素因などの選手の内的要因やトレーニングが原因と考えられる傷害が多くみられ、受傷後順調な経過をとらない併発例、再発例、回復遅延例においてはさらにその傾向が強かった。既往症の部位や身体的弱点に関するセルフコンディショニングを徹底指導した結果、罹病期間、練習中止期間、併発例や再発例の発生率、公式戦欠場数などの治療成績は向上した。怪我から早期に復帰して高いパフォーマンスを再獲得するためには、クラブ内の医療及び医療環境をレベルアップする、クラブ関係者間のコミュニケーションの向上をはかり、病状や治療方針に関する共通認識をもつ、復帰をあせらず十分なりハビリを行う、既往症や身体的弱点に対するセルフコンディショニングを徹底させることが必要である。